


令和元年（2019年）6月12日（水）10：00配付

<p>項 目</p>	<p>令和元年度（2019年度） オホーツク管内JGAP指導員フォローアップ研修会</p>
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度（2019年度）オホーツク管内JGAP指導員フォローアップ研修会開催要領：2枚</li> <li>・「教えて JGAP（ジェイギャップ）」（一般財団法人日本GAP協会）：2枚</li> </ul>
<p>内容及び報道に当たったのお願い</p>	<p>○ オホーツク管内におけるGAPの取組推進や認証取得拡大に向け、GAPに精通した生産者等へ指導できるGAP指導員を育成するため、管内のJGAP指導員を対象とした研修会を次のとおり開催しますので、</p> <p style="text-align: center;"><u>当日の取材・報道をお願いします。</u></p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>【開催内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 日時 令和元年（2019年）6月24日（月）10:00～15:30</li> <li>2 場所 ホクレン訓子府実証農場 講堂 及び 機械庫 (訓子府町駒里184-7)</li> <li>3 主催 オホーツク地域GAP導入推進会議 (事務局：オホーツク総合振興局産業振興部農務課)</li> <li>4 関係機関・団体  <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     北海道農政事務所、網走農業改良普及センター、JA北海道中央会北見支所、ホクレン北見支所、オホーツク農協連、オホーツク総合振興局                 </div> </li> <li>5 開催概要 別添「令和元年度（2019年度）オホーツク管内JGAP指導員フォローアップ研修会開催要領」のとおり</li> </ol>
<p>他のクラブとの関係</p>	
<p>担 当</p>	<p>産業振興部農務課長 矢花 修                  直通：0152-41-0660                  （内線2700番）</p> <div style="text-align: right;">  </div>

**令和元年度（2019年度）**  
**オホーツク管内JGAP指導員フォローアップ研修会 開催要領**

**1 目 的**

GAPの取組推進や認証取得拡大に向け、GAPに精通し生産者等へ指導できるGAP指導員を育成するため、管内のJGAP指導員を対象とした研修会を開催する。これにより、管内のJGAP指導員の資質向上及び情報共有化を図る。

**2 主 催**

オホーツク地域GAP導入推進会議

**協 力**

ホクレン訓子府実証農場

**3 開催場所及び日時**

場 所：ホクレン訓子府実証農場 講堂及び機械庫（訓子府町駒里184-7）

日 時：令和元年(2019年)6月24日（月）10:00～15:30(受付9:30～)

**4 参集範囲**

オホーツク管内のJGAP指導員

①平成30年度中に「JGAP指導員基礎研修（農産物）」を受講し、JGAP指導員となったJA職員・自治体職員・普及指導員等

(以下、任意参加可)

②オホーツク地域GAP導入推進会議主催による「JGAP指導員基礎研修」（平成29年12月開催）を受講し、JGAP指導員となったJA職員・自治体職員・普及指導員等。

③①・②以外でJGAP指導員資格（農産物あるいは畜産）を有しているJA職員、普及指導員等。

④JGAP認証取得に取り組む農場・団体を支援する予定があるJA職員、普及指導員等

**5 内 容**

別添「カリキュラム」の通り（受講料は無料）。

**6 申込方法**

令和元年（2019年）6月10日（月）までに、別添様式（出席報告書）で申し込む。

申込先：オホーツク総合振興局農務課農産係（高橋）

FAX：0152-44-0240

電子メール：takahashi.moemi@pref.hokkaido.lg.jp

**7 留意事項**

(1) 本研修会は、JGAP指導員が各地区でJGAP認証取得を支援するための実践的な指導方法を習得する内容とします。

(2) 参加者は、筆記用具、現地研修用のブーツカバー（1足分）を持参してください。

(3) 研修テキスト（AS I AGAP・JGAP導入の手引き）をお持ちの方は持参してください。お持ちではない方は、当日会場で配布します。

(4) 昼食（弁当：1,000円）を注文する方は、「出席申込書」にご記入ください。

(5) 研修会の中で、各地区のGAP取組状況について情報交換を行います。

令和元年度（2019年度）  
オホーツク管内JGAP指導員フォローアップ研修会 カリキュラム

○場 所：ホクレン訓子府実証農場講堂及び機械庫（訓子府町駒里184-7）

○日 時：令和元年（2019年）6月24日（月） 10:00～15:30（受付9:30～）

○講 師：網走農業改良普及センター・ホクレン訓子府実証農場

時 間	内 容	場 所	進 行
9:30～	受講者受付	講堂	事務局
10:00～	開会 あいさつ 日程説明・連絡事項	講堂	事務局
10:10～ (10:10～10:30)	講義 ・ J G A P の概要と認証取得までの流れ	講堂	講師 (網走農業普及センター)
(10:30～11:30)	・ J G A P 個別認証取得支援の手法		
(11:30～12:00)	・ J G A P 団体認証取得支援の手法		
12:00～13:00	昼食		
13:00～15:00	現地研修・グループ討論 ・ 農場施設改善のポイント	機械庫・講堂	講師 (網走農業普及センター) (ホクレン訓子府実証農場)
15:00～15:30	情報交換 ・ 各地区におけるGAPの取組状況	講堂	事務局
15:30	閉会	講堂	事務局

※時間は概ねの予定です。

※研修中は講師の指示により適宜休憩を取ります。

# 良い農産物選びは、良い農場選びから



持続可能な農業の実現に貢献する



**JGAP** (ジェイギャップ)



登録番号 123456789

- ✓ 栽培の記録がしっかりとってあるということ
- ✓ 農薬を正しく使っているということ
- ✓ きれいな水で農産物を洗っているということ
- ✓ 安全性を確認した肥料を使っているということ
- ✓ 衛生的な方法で収穫作業をしているということ
- ✓ 専門の審査員が実際に農場に行ってチェックして  
… いるということ  
etc.

▶ JGAPには種まきから収穫まで、全部で120項目以上の食の安全や環境保全などに関するチェックポイントがあります。

J… Japan (日本の)  
G… Good (良い)  
A… Agricultural (農業の)  
P… Practice (やり方)

栽培の流れ

土の管理

水の管理

肥料の管理

農薬の管理

衛生的な管理

農林水産省も推進している  
農業の取り組み(GAP)の一つです。

一般財団法人  
日本GAP協会

JGAP 検索

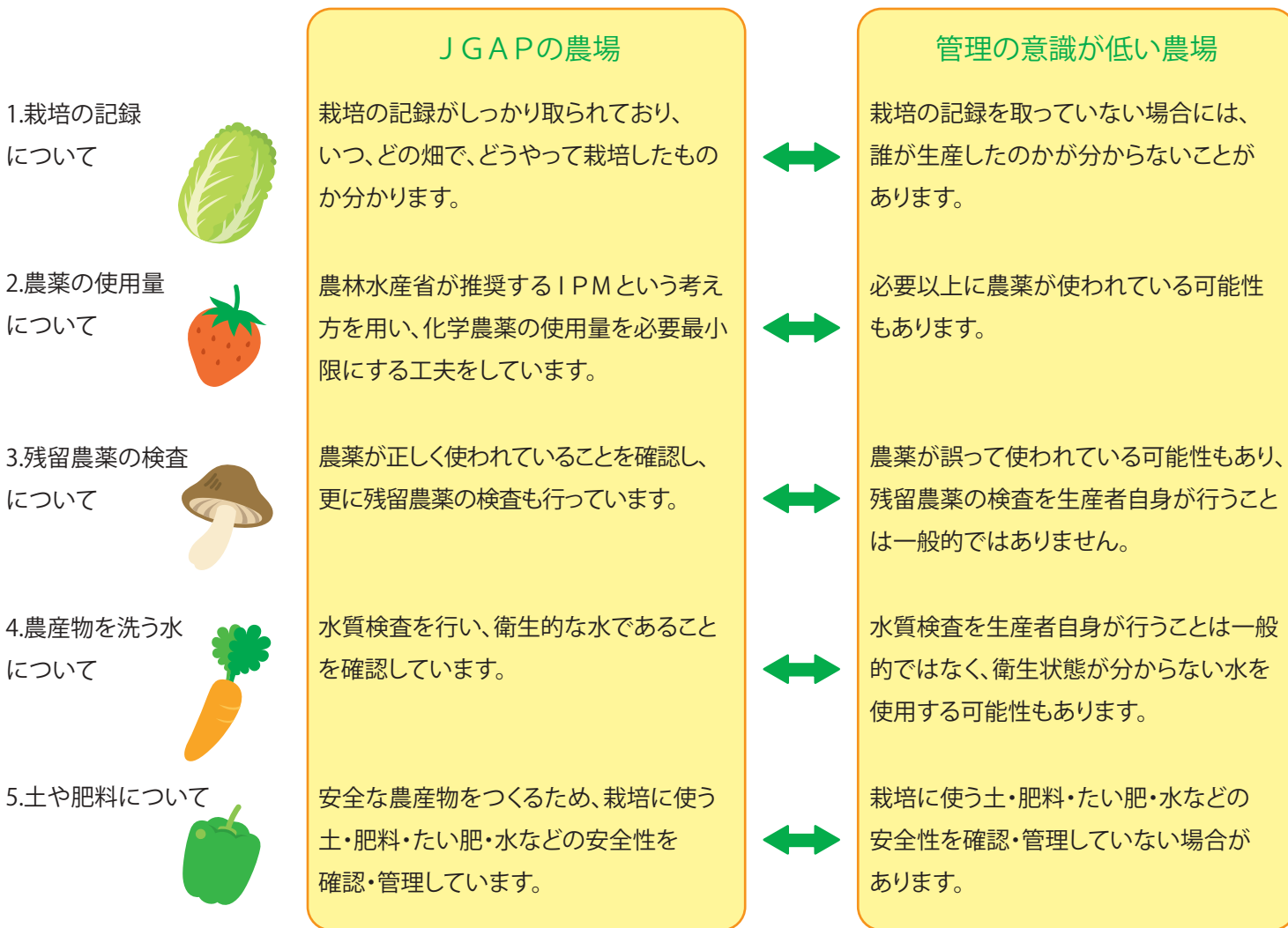
第14回グリーン購入大賞

優秀賞受賞

# 教えて JGAP (ジェイギャップ)

## Q1. JGAPの農場と、他の農場は何が違うのですか？

A. JGAPは「食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証」です。専門の審査員が定期的に農場に行き、チェックしているので信頼できます。



\* 自主的に良い管理が行われている農場も多くありますが、JGAPでは認証機関の審査員が農場に行き、管理状態をチェックしているので、より信頼できます。



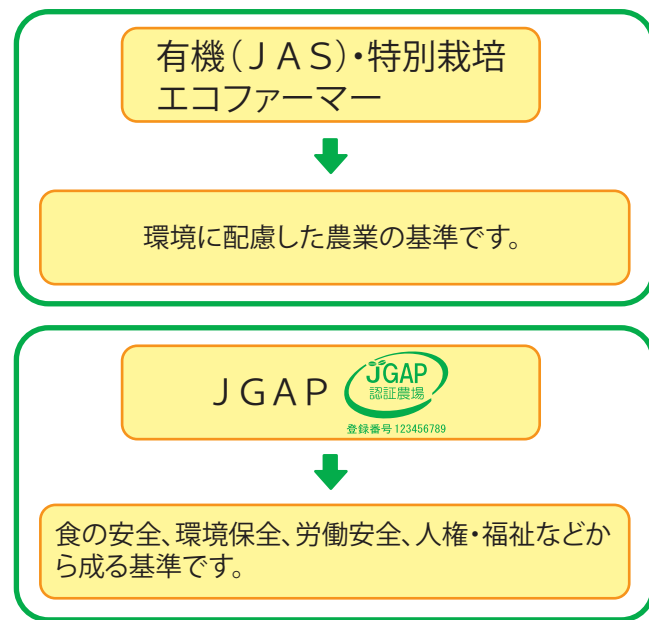
農場に行き審査しています



JGAPの基準書

## Q2. 有機(JAS)・特別栽培・エコファーマーはJGAPとは何が違うのですか？

A. 下図のように違いがあります。



JGAPについて、もっと詳しく知りたい方は、[ホームページ](#)   [クリック!](#)

**JGF** 一般財団法人 日本GAP協会

東京都千代田区紀尾井町3番29号  
日本農業研究所4階

TEL:03-5215-1112 FAX:03-5215-1113